



参上!



松阪牛をモチーフとした新マスコットキャラクター「たきモ」



広報PRの訴求力を高め、自己改革の先導役イメージを担うため、マスコットキャラクターの制作を行いました。LINE登録者の増加を図るための「たきモLINEスタンプ」制作や、イベント会場での「たきモ等身大パネル」の設置など、お子さまを持つファミリー層への認知度を高める施策を今後展開していくことで、JA活動へのご理解を深めていきたいと考えています。

イラストは職員から募りました。次郎柿のヘタの帽子としっぽのえごまの葉が特徴です。名前は郡名である「多気」と、モチーフとなった松阪牛の鳴き声の組み合わせにより命名しました。イラスト、名前ともに数ある候補より厳選させていただきました。

今後も「広報専任キャラクター」として様々な場面で、組合員の皆様や地域住民の方々目に触れる機会を増やし、JA多気郡の自己改革をPRしていきます。



表紙の写真

大淀海岸レンタサイクル体験（明和町）上
キャンプ場や海釣りで人気の大淀海岸。この砂浜でもへっちゃらなブロンクスバギーで走ってみてはいかがでしょうか。電動アシストで疲れないE-バイクでデザインもおしゃれ。女性にも乗りやすいと好評です。

動物たちとのふれあい体験（多気町）左下
ごかつら池どうぶつパークに行くと、たくさんのかわいい動物たちがお出迎え。希少な動物も多く日本で3頭だけの「カラカル・下」や「アルパカ・右上」と「クビワペッカー・左上」は三重県ではここにしかいない動物です。

大杉谷ガイドツアー（大台町）右下
大杉谷から大台ヶ原を楽しむことができる大杉谷ガイドツアー。初心者から上級者向けのコースまで、様々な登山のプランが用意されています。清流宮川の源流をたどり、大杉谷の絶景を楽しんでみませんか。

写真提供：明和町観光協会 / ごかつら池どうぶつパーク / Verde大台ツーリズム



JA 多気郡は
自己改革
に取り組んでいます
—— 令和6年度 実績報告 ——

JAの主人公は組合員のみなさん

協同組合(JA)は、同じ目的を持った人々が集まり、組合員となることで成り立っている組織です。正組合員は、農畜産物の生産や販売、生産資材の購買などに協同の力によって取り組むことで、豊かな農業を育むことができます。地域の農業を豊かにすることは、日本の食と農を守ることに繋がります。農業を通じて地域に貢献する主人公、それがJAの正組合員です。

准組合員は地域の農業を豊かに

JAには信用や共済、ガソリンスタンド、高齢者福祉などさまざまな事業があり、農業に直接関わらなくても、これらを利用することで准組合員となることができます。また、地域農業を豊かにするためには、農畜産物を食べる消費者の理解も必要です。准組合員は、正組合員と共に食を通じて農業を育み、豊かな地域社会を築くJAの大切な仲間なのです。

私たちは組合員、地域のみなさまに必要とされるJAであり続けるため、常に一步先を目指し自己改革に取り組んでいます。



理念・めざす姿・基本方針

① 理念

農業と自然を守り、豊かなくらしと明るい地域社会づくりに貢献します。

② めざす姿 NEW!

- 1 持続可能な農業の実現
- 2 協同組合としての役割発揮
- 3 豊かでくらしやすい地域共生社会の実現

③ 基本方針 NEW!

1 農畜生産の拡大・農業者の所得増大の実現と県産農畜産物の安定供給への貢献

地域農業振興計画の高度化や新たな品目の拡充、米・麦・大豆生産振興方針を計画的に実践するとともに、農業経営に配慮した「環境調和型農業」を段階的にすすめることで、持続的な生産振興を図ります。また、「健康増進」をキーワードに直売所を基点とした県産農畜産物の消費拡大を図り、地産地消・国産国産を推進します。さらに、補助事業の情報提供等により農家組合員へ出向き・出迎える活動の強化につなげます。以上を踏まえ、多様な農業者の活躍と連携により、“農畜生産の拡大”を通じて“農業者の所得増大”につなげることで、多彩な農業が調和しつつ持続的に維持・発展し、県産農畜産物の安定生産・安定供給を通じて地域の食を支えている姿を目指します。

2 人と組織が成長する持続可能なJA経営の確立

今後も引き続き自己改革を実践するため、環境変化を見通し、事業の収益性・経営の健全性を確保するための戦略と、これを実現する経営管理手法などの経営要素を整備・強化し、着実に成果が表れている姿を目指します。

3 組合員・利用者とともに取り組む組織・地域の活性化

組合員や利用者との対話を通じてニーズを把握し、豊かなくらしの実現に貢献するとともに、「JAファン」の拡大につなげます。さらに、組合員の声に基づいた総合事業と協同活動を展開することで、組合員およびその次世代層との関係性を深めるとともに、地域共生社会の一員として多様な関係者と連携し、“地域の活性化”に貢献している姿を目指します。

総合事業

J Aは、下記のように、多様な事業を総合的に展開することで、地域農信用事業や共済事業などを含めた総合事業だからこそ、営農指導員の

営農指導事業



営農に関する技術指導や相談等、組合員の営農支援のための活動を行っています。

農業経営事業



担い手が不足する地域の農地を中心に農業経営、農地維持を行っています。

販売事業



市場に有利販売ができるよう、農産物をまとめた数量で売る「共同販売」を行っています。

購買事業



農業や生活に必要な安全で品質のいい資材を大量購入等で安価に仕入れ、安定的に供給しています。

利用事業



個人では所有できない大規模な乾燥設備や搾油施設を利用できるように設備運営しています。

事業実績の推移

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
信用事業総利益	919,913	942,130	962,017	987,505	837,226
共済事業総利益	461,787	466,921	435,049	409,299	384,272
購買事業総利益	341,877	308,544	241,245	248,453	237,376
販売事業総利益	54,646	50,853	54,943	55,409	57,176
その他の事業総利益	94,610	91,320	102,010	93,182	90,727
事業総利益(合計)	1,872,835	1,859,770	1,795,270	1,793,852	1,606,782
事業管理費	1,587,940	1,641,765	1,609,319	1,596,909	1,495,294
事業利益	284,894	218,005	185,951	196,942	111,488
事業外損益	52,858	58,552	88,985	71,106	58,209
経常利益	337,753	276,557	274,937	268,049	169,697

の意義

業の振興や地域づくりに努めています。農業関連事業は、配置や大規模な農業施設投資を実現できています。

生活指導事業



組合員のライフスタイルに合わせてくらしの活動を提案し、地域の活性化に取り組んでいます。

信用事業



地域の金融機関として、貯金・融資・為替業務などの金融サービスを提供しています。

共済事業



助け合いの理念に基づき「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供しています。

葬祭事業



地域や寺院の慣例を重視し、小規模家族葬儀からホール葬儀まで様々なプランを提案しています。

介護事業



地域の介護事業所と協力し、医療と介護の連携強化を行い、信頼されるサービスを提供します。

組合員や利用者との対話を通じてニーズを把握し、豊かなくらしの実現に貢献するとともに、「JAファン」の拡大につなげます。自己改革を実践するため、環境変化を見通し、事業の収益性・経営の健全性を確保するための戦略と、これを実現する経営管理手法などの経営要素を整備・強化します。

人と組織が成長する持続可能なJA 経営

組織・地域の活性化

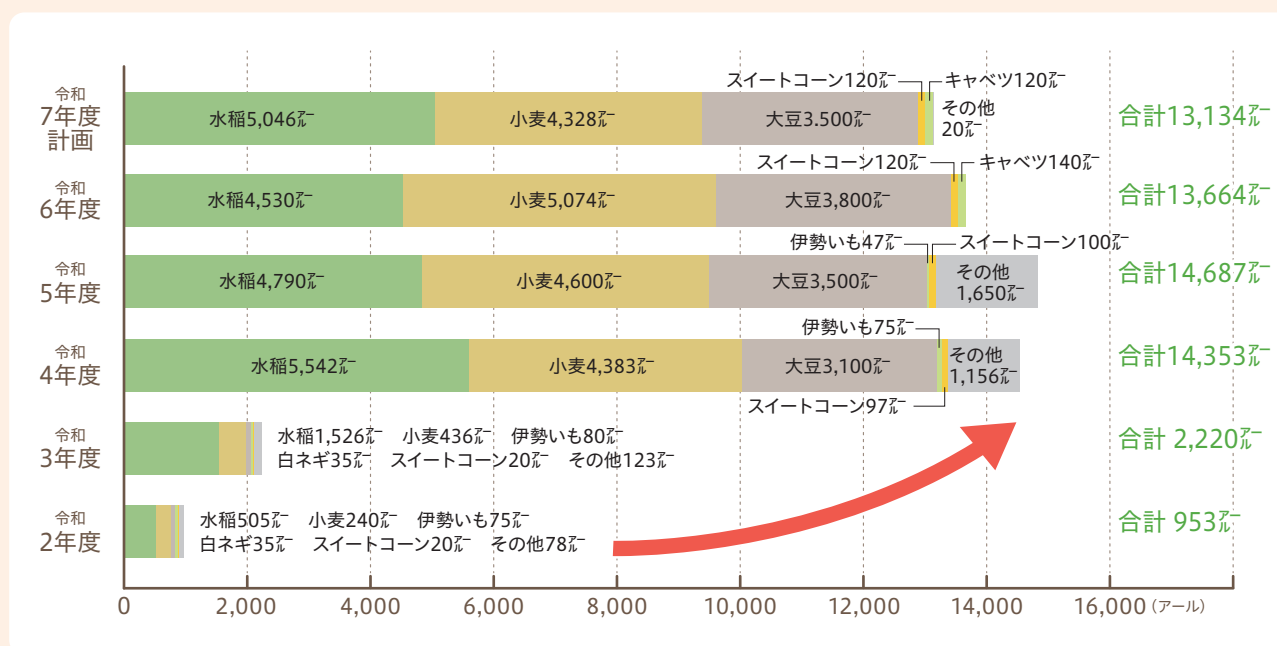
JA多気郡の自己改革

JA出資型法人～株式会社多気郡アグリサポートの取り組み



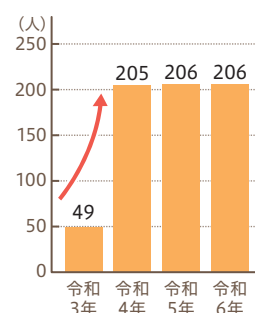
株式会社多気郡アグリサポートでは、高まる担い手支援の要請を受けて多様なニーズに応えてきました。また、行政機関や三重県農業大学校との連携による新規就農者の育成など、今後も積極的な活動を継続していきます。

令和6年度の栽培計画とこれまでの実績

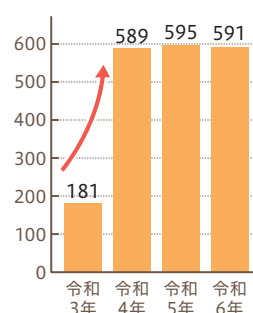


農地受託明細

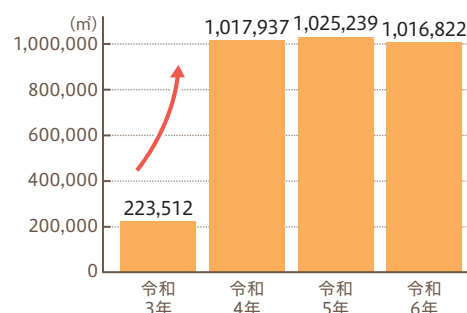
受託者人数



圃場数



面積



農業金融体制の強化 部門間連携とコンサルティング

農業融資担当者によるコンサルティング、営農経済部門の担当者(TAC)、農機担当者など部門間連携による農業者へのソリューション活動をより高い精度で行なっています。

- 就農のための用地や設備、栽培への各種相談を資金面も含めて応談
- 就農後のアフターフォローも万全の体制

総合事業の強みを活かした連携、
農家のニーズにあった資金やサービスを迅速に提供



農業資金実行件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
農業資金実行件数	95	80	77	70	74
農業資金実行金額	64,023万円	48,677万円	54,573万円	47,430万円	59,499万円

事業利用分量配当の実施

実施年月	配当金額	基準
令和7年7月	9,515,687円	肥料・農薬 購買金額に対して3%

生産資材等価格高騰への対応

世界的なインフレ等による資材高騰の影響を受けた方への円滑な資金対応として、利子補給や保証料助成を実施しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績件数	9件	28件	26件
融資額総額	9,138万円	12,796万円	9,983万円

就農支援

新規就農者を確保するため、関係機関と連携し、相談者への土地や施設、農業機械の紹介など個別訪問を通じた就農支援を行っています。

	令和6年度	令和7年度
新規就農支援	3件	2件

組合員ニーズを重視した取り組み

生産コスト上昇に見合った販売価格の実現し、気象変動に応じた品種の提案や技術指導を行い、今後も重点課題と位置付け、継続して取り組んでいきます。



J A 多 気 郡 の 自 己 改 革

伊勢たくあんプロジェクト

NEW

昭和30年代をピークに明和町でも多く栽培されていた、伊勢たくあんの原料となる御菌大根。その復活を目指して立ちあがった「伊勢たくあんプロジェクト」も計画通りに進行し、令和6年12月には“はさ掛け”を行い、地域の懐かしい姿を見ることができました。令和7年6月には試作品も完成し、協力いただいている明和町、三重県漬物協同組合から期待の声が寄せられています。



伊勢たくあんの原料である
御菌大根を作っています

御菌大根は繊維質が豊富で歯応えが良く
伊勢たくあんに最適。
乳酸発酵食品で健康志向にも合う伊勢たくあんが
伝統の食文化としてここ明和町に復興します。



加工用野菜の生産振興

加工・業務用野菜に対する需要が拡大する中、実需者ニーズに見合った作付け品目として「白菜」「キャベツ」の生産を推進し、農家経営の安定と所得向上に取り組みました。

成果指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
加工用野菜 (白菜・キャベツ)	生産面積	1,410アール	1,103アール	1,309アール	980アール
	出荷量	685.3トン	550.8トン	699.0トン	362.4トン
	販売高	2,840万円	2,489万円	3,146万円	1,664万円
	出荷者数	32人	20人	19人	14人

行政・普及センターやJ A全農みえ、 肥料メーカーとの連携

地域農業をリードする担い手経営体を支援するため、農政・営農情報の提供、農業融資、農業リスク診断等の総合事業提案を行い、法人化や規模拡大、販路の拡大を支援しています。



燃料事業の取り組み

給油所・配送業務において、営農用に免税軽油を使用する農家の方々を支援する為、奨励金の支給を行いました。

農薬研修会開催

各農薬メーカーから講師を招き、4年振り3回目となる農薬研修会を開催しました。営農部職員が参加し、除草剤や殺虫剤などの注意点を確認しました。



レンコンの

試験栽培を開始

NEW

多気郡の新たな特産品を目指し、5月から乾田レンコンの試験栽培を開始、11月下旬から収穫作業を開始しました。県内のスーパーで販売を開始し、レンコン栽培の周知を図り生産者の募集に繋がりました。



フルーツ生産振興

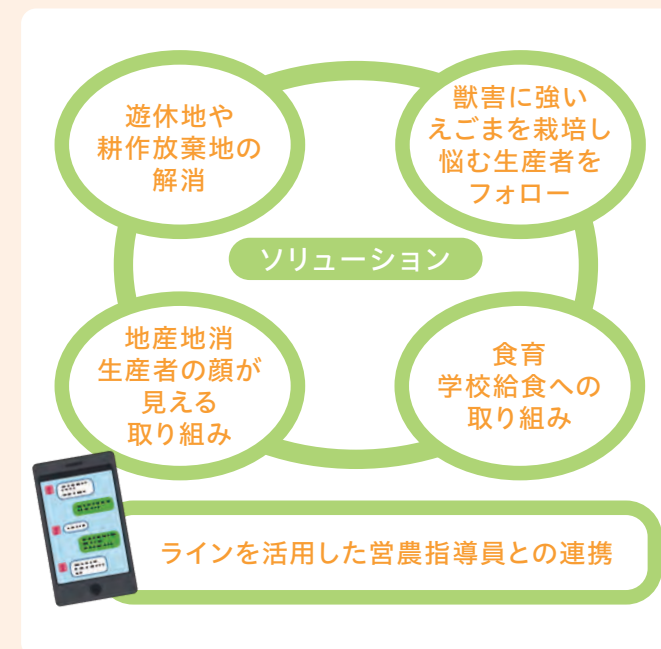
NEW

フルーツ生産振興の推進計画を立案、地域農業振興計画に基づき産地の維持・拡大に努め、農業改良普及センターと連携し、作付け提案や新規品目の振興を行うとともに、市場での販路確保や販売拡大を実施していきます。



奥伊勢えごま倶楽部

山間地域における後継者不足の解消と、獣害に強く、高い付加価値を創造することができるえごまの栽培を開始、ソリューション(問題解決)からイノベーション(地域革新)へと繋げるその活動は、平成28年の発足から年々その活動の幅を拡充しています。



J A 多 気 郡 の 自 己 改 革

生産者と地域住民を繋ぐ拠点 農産物直売所スマイル



農産物直売所スマイルは多気町と明和町に2店舗を展開し、地場産農産物の直売店舗としてのこだわりを軸として、地域の多種多品目な農産物の生産者と地域住民を繋ぐ役割を担い、地域の特産品をアピールしています。また、出荷される生産者には、営農センターと連携した集荷支援も行なっています。

年間売り上げ金額「50万円以上」の出荷者数の推移

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
183人	164人	171人	149人	170人

スマイル売上高

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
5億2,734万円	4億8,059万円	4億8,543万円	5億26万円	5億3,910万円

スマイル来店客数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
318,903人	299,640人	294,464人	300,469人	300,757人

感謝祭の開催

NEW

野菜価格の高騰を受け、地域の皆様に地元野菜をお値打ちにお届けするため、農産物直売所スマイル多気で感謝祭を開催しました。自然の味処すまいる料理長が調理したレンコンのきんぴらの試食も行なわれ、新たな特産品のPRにも繋がりました。



会員制倉庫型店舗の商品販売

NEW

来店客の利便性向上と集客対策の一環として、新たに会員制倉庫型店舗の商品を仕入・販売し、売上高の向上を図りました。



野菜ソムリエ有資格職員によるレシピ等の情報発信

野菜ソムリエの資格を持つ職員により、手作りレシピの配布設置や野菜の効能などを店内POPとして掲示したほか、店頭へ来られたお客様との直接対話で、高いリピート率や顧客満足度向上に繋がっています。



営農センターと連携した集荷支援

農業従事者の高齢化や後継者不足等により年々農産物の栽培面積が減少し、少量多品目化が進む中、営農センターと連携し、集荷を希望する会員宅へ伺っています。



自然の味処すまいる



地元食材を使用した季節メニューによる地場産農産物のPRや、隣接する農産物直売所スマイル多気店での弁当や惣菜の販売により売上の底上げを行っています。また、恵方巻きの予約販売や土用丑の日のうなぎのかば焼き販売も定着してきました。今後も旬の食材を活かした新メニューの開発に引き続き取り組んでいきます。



JA多気郡の自己改革

女性部の活動

健康増進活動

女性の視点を活かした活動を推進し「食事・運動・健診」を柱に「JA健康寿命100歳プロジェクト」を中心とした全世代型の組合員・地域住民等の健康づくりに取り組みました。また、JA組織・行政等と連携し、地域住民との接点づくりに取り組み、次世代層への加入促進に努めました。



女性大学を開講

令和6年12月、地域農業を共に応援する仲間づくりを目指して、女性のための女性大学「JA多気郡～あぐりLady～」を開講しました。開講式の後、第1回講座クリスマスケーキ作りを行ったほか、3月には第2回講座みそ造りが行われ、令和7年度にかけて計5回の講座を開催していきます。



食農活動

地域の未来を担う子どもたちへ、食を支える農業の役割や地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための食農教育を女性部員や生産者の協力を得ながら実践しています。



女性部の各支部 合同反省会を開催

NEW!

6日間に渡り各支部合同の「ランチ反省会」を開催しました。参加者はスタッフを含め222名と大規模なものになりました。



フレッシュミズの活動

若い女性を対象としたフレッシュミズも定着し、今後もメンバーの紹介を行うなど継続して活動を推進していきます。



子どもたちの農業体験

管内の小学校では、3年生の国語の授業で「すがたをかえる大豆」というお話を勉強します。JA多気郡では、食育を兼ねて大豆を育てる取り組みを支援しています。



JA多気郡は自己

JA畑のイモ掘り体験フェス開催

昨年よりも118名多い、計338名の方々に参加いただいた「JA畑のイモ掘り体験フェス」。今年は食農教育と併せて「防災」をテーマにイベントブースを設置するなど、子育て世代との繋がりを深める取り組みを積極的に展開してきました。



初の主催イベント 年金友の会

JA多気郡年金友の会が主催となる初めてのスペシャルイベントを開催しました。松阪中央総合病院名誉院長の玉置久雄先生による講演会と、ものまね歌謡ショーで楽しんでいただきました。



備蓄用 簡易トイレを 寄贈

昨年の防災食に引き続き、備蓄用簡易トイレを明和町・多気町・大台町に合計で2,900個寄贈しました。



ホームページを リニューアル

広報の訴求力UPのためホームページを一新、次世代層への関心を高めるための工夫や、SNSと連動した広報ツールとして活用していきます。

ぬり絵コンテスト

マスコットキャラクターの制作発表に伴い、ぬり絵コンテストを実施し、優秀作品の表彰も行いました。



改革を継続します。

ふれあい歌謡ショーと大抽選会

昨年に引き続きふれあい歌謡ショーを開催。10回目の節目を記念して大型テレビや松阪肉など豪華景品が当たる大抽選会を初めて開催し、来場者に楽しんでいただきました。



子育てフェスタに参加

社会福祉法人豊津児童福祉会主催、明和町教育委員会後援の「子育てフェスタ」に参加しました。次世代層に向け、農業に関心を持ってもらえるよう「もみすり体験」や農業用トラクターを展示しました。



大台町どんとこい祭りに参加

地域貢献活動の一環として大台町のどんとこいまつりに参加しました。用意した約800名分の松阪肉の試食はすぐに完食となりました。



SECOM三重株式会社 との業務提携開始

高齢者の暮らしの安全を守るため、遠隔見守りや空き巣対策としてSECOM三重株式会社と商品取扱業務提携を結びました。



電気自動車を導入

本店では、三重県産の電力でクリーンエネルギーの「三重美し国Greenでんき」を使用しています。今年度は広報車両として電気自動車を導入、CO₂排出ゼロを目指しています。



さつまいもをフードバンクに寄付

昨年に引き続きNPO法人「みんなの食堂こむすび含めいわ町」に、職員が育てたさつまいも約60kgを寄付しました。

J A 多気郡 自己改革工程表

J A 多気郡は、これまで、組合員との徹底した対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本計画とする自己改革の実践に全力で取り組んできました。令和4年度からは、自己改革実践サイクルの取り組みとして、組合員の声をふまえ、数値目標を含んだ自己改革の実践の具体的な取り組み等を毎年度の総代会で決定することで、着実に取り組んでいます。

この結果、平成31年に実施した「J Aの自己改革に関する組合員調査」等において、多くの正組合員から、一定の評価と自己改革への一層の期待、多くの准組合員から、総合事業への期待等の声をいただくことができました。

令和7年度からは、組合員との対話をふまえ、農業者の所得増大に向けて、コンテナ出荷の拡大や主力品目野菜の契約取引の拡大等、好評である取り組みを継続強化するとともに、JA経営基盤強化や組合員との対話・意思反映の取り組みもすすめることで、不断の自己改革によるさらなる深化を目指しています。

今後とも、J A 多気郡は、地域になくってはならないJ Aであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んで参ります。

自己改革を実践するための 具体的な方針

〔下線項目はKPI設定〕

- 1 訪問活動や懇談会を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。
- 2 「農業者の売上増加・コスト低減」につながる担い手目線で必要な取り組みについて、目標及び実践具体策の策定等とあわせて実践し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「地域の活性化」にも取り組みます。
 - 担い手経営体や中核的担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
 - ① コンテナ出荷の拡大 ② 加工品・業務用野菜の導入
 - 中核的担い手や多様な担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
 - 主力品目野菜の契約取引の拡大
 - 必要とする全ての者を対象として、次のことに取り組みます。
 - 銘柄集約肥料の取扱拡大
 - 農業経営支援のための資金提供として、次のことに取り組みます。
 - 農業者向け融資の拡大
- 3 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。



自己改革の実践に向けた 組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話や懇談会のみならず、地域に根ざしたJ Aを目指して直売所利用者モニターや広報モニター、組合員懇談会の仕組みを通じて「J A事業の利用と協同活動への参加を通じて、農業・地域経済の発展を農業者とともに支えるパートナー」である准組合員の声も聴くことで、正・准組合員が一体となったJ A運営を実現します。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう取り組みます。

JA多気郡自己改革工程表

農業者の所得増大・農業生産の拡大

コンテナ出荷の拡大を通じたコスト低減			令和4年度		令和5年度		令和6年度	
対象者:担い手経営体や中核的担い手など	想定	コスト低減効果	目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和6年度	65t	1kgあたり 10～15円	60t	88t	63t	89t	65t	110t

これまでの取組概要と今後の計画

- 当JAでは、漬物業者向けの加工用白菜の出荷者に対してコンテナの貸出に取り組んでまいりました。
- 令和6年度においては、キャベツも含め出荷量は令和5年度実績を更新し、130tの実績となりました。
- 当該取り組みは、生産者から評価する声を頂戴しています。
- 今後は、拡大を希望する生産者の声を反映する為、キャベツのコンテナ出荷も含め、令和7年度からの3年間においても、本取り組みの継続強化を進めていきます。



主力品目野菜の契約取引の拡大を通じた売り上げ増加			令和4年度		令和5年度		令和6年度	
対象者:中核的担い手や多様な担い手など	想定	売上増加効果	目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和6年度	750t	1kgあたり 市場単価+1%	650t	535t	700t	757t	750t	382t

これまでの取組概要と今後の計画

- 加工・業務用野菜の需要が高まる中、契約取引により加工用 白菜に加え、加工用キャベツの生産を推進し、農業経営の安定と所得向上に取り組みました。
- 白菜については、鉄コンテナ出荷の普及拡大により、作業の効率化と出荷コストの低減に繋がっています。
- 令和7年度からの3年間においても、組合員との対話を通じて、本取り組みの継続強化を進めていきます。



銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト低減			令和4年度		令和5年度		令和6年度	
対象者:担い手経営体や中核的担い手など	想定	コスト低減効果	目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和6年度	11,000袋	1袋あたり 500～800円	10,000袋	10,919袋	10,500袋	10,541袋	11,000袋	10,119袋

これまでの取組概要と今後の計画

- これまでに、銘柄集約による品目選定や大型ロットでの一括仕入れにより、安価での安定供給に努めました。
- 全国的に肥料価格の値上がりは落ち着きましたが、肥料設計の見直しと、銘柄集約させることでより大型ロットでの仕入れが可能となり、価格に反映させることができました。
- 令和7年度からの3年間においても、肥料の一括仕入れに向けた予約購買推進を図り、本取り組みの継続強化を進めていきます。



農業者向け農業融資の拡大

高度な農業金融機能の発揮による農業者の成長支援	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
農業者向け事業融資の拡大(新規実行額)	目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和6年度	1.5億円	2.1億円	1.7億円	1.8億円	2.0億円	2.6億円

これまでの取組概要と今後の計画

これまでの取組状況

- 担い手リーダーの活動により、3名の新規就農者への資金供給を円滑に行うことができました。
- 農業メイン強化先については定期的な訪問、ソリューション提供活動により有効な資金支援ができました。

今後の具体的取組み

- 担い手リーダーを主体に、農業者や農業法人への担い手コンサルティング活動を行い、経営課題を深掘し、適切なソリューションを提供します。
- 資材高騰の影響により経営支援の必要な農業者に対して、新規貸付相談や償還条件の変更等の申し込みに真摯かつ適切な対応に努めます。
- 今後も、融資を必要とする農業者に対し、積極的な融資の推進を行い、令和7年度からの3年間においても、本取組の継続強化を進めていきます。

不断の自己改革を支える経営基盤の確立・強化

今後5年間の収支見通し(成行シミュレーション)

- JA多気郡として、現状のまま事業改革を進めなかった場合の5年後の成行きについてシミュレーションを行うと、5年後には現在の事業利益に比べて、段階的に減少する見通しとなりました。
- 部門別損益では、主要部門における事業総利益の減少ベースが、事業管理費の減少ベースを上回る見通しとなっております。
- 今後は、事業管理費のさらなる削減を実行し、健全で持続性のある経営を確保することが緊急の課題となります。

経営基盤強化に向けた実践施策

部門	改善施策	取組みの詳細	目標値(または状況)						効果額
			令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	
営農	農業関連施設(園芸)の稼働率向上に向けた機能再編	拠点と機能の集中	再編案の決定	再編案の決定	1拠点	再編案の決定	1拠点	1拠点	—
信用	組合員・利用者の利便性を考慮した金融店舗の機能再編	7支店を4支店に(2支店は準基幹店化)	5支店	5支店	4支店	4支店	4支店	4支店	1,200万円

今後5年間の収支見通し(対策後シミュレーション)

- 当JAでは、持続可能な経営基盤の確立・強化に向けた主な戦略を上記のとおり策定しました。
- これらの施策から、成行シミュレーションより事業利益ベースで令和10年度に約17百万円の改善ができる見通しとなりました。

対話・意思反映

項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
組合員懇談会(出席人数)	100人	135人	140人	185人	180人	182人
支店運営委員会(出席延べ人数)	—	227人	—	190人	200人	185人
広報モニター(意見提出人数)	50人	52人	55人	40人	55人	91人
組合員アンケート(意見提出人数)	200人	193人	200人	166人	200人	138人

これまでの取組概要と今後の計画

① 組合員懇談会、支店運営委員会による対話

- 6月に総代懇談会、11月と2月に支店運営委員会を開催し、各地域の組合員から意見や要望等について収集し意見交換を行いました。
- 収集結果を取りまとめ、要望への対応を組合員・運営委員へフィードバックしております。

② 広報モニターの実施

- 当JAの広報活動にかかる課題を把握し、より良い情報提供や情報発信を行うため、組合員の声を取り組みに反映できるよう検討を進めてまいります。
- インターネットやSNSを活用し、幅広い年齢層へモニター協力の呼びかけを実施します。

③ 組合員アンケートの実施

- 当JAの組織・事業・活動にかかる課題を把握し、より良いJA運営を行うため組合員アンケートを実施しました。
- 収集結果を取りまとめ、要望への対応を広報誌を活用して組合員へフィードバックしております。
- 組合員アンケートを実施継続しながら、アンケートから得た内容を今後の事業改善や計画に反映し、引き続き自己改革を進めてまいります。

地域に根差した協同組合として、正組合員・准組合員の声を伺う機会は非常に重要であると考えています。上記活動を通じていただいた貴重なご意見については、今後の業務改善及び事業計画等に反映し、引き続き自己改革を進めてまいります。